



ぴょんぴょん



VOL.1

豊岡市教育委員会

こども育成課

2022年7月8日（金）発行

運動遊び事業で目指していること

運動遊びは、人と関わり楽しく体を動かして遊ぶ経験を通して、特に以下のような子どもの姿を目指しています。ぜひ、先生も一緒に楽しみながら体を動かして遊び、子ども達と充実した園生活をお過ごしください。

運動遊びを通して目指す子どもの姿

- 体を動かすこと、運動が好きな子に
- 自分の体を使える子に
- 挑戦意欲のある子に
- 自己表現できる子に
- 友達と一緒に喜びや困難を共有できる子に

豊岡市教育委員会
「育てたい5つの力 すくすくプログラム 指導の手引き」から一部抜粋



子どもも先生も、楽しく運動遊びを続けるために

定期的取組や設定保育を見せていただく度、先生方が「目指す子どもの姿」を意識し、ねらいや指導計画をもとに楽しい運動遊びを実践されていることが伝わってきます。

- 連絡会で日々の取組や子どもの様子についてお話を伺った時、「苦手意識がある子や、気分が乗らない子の関わり方に悩む」
- 「遊びがマンネリ化している。子ども達が満足感を味わうにはどうしたら良いか」

といった先生方の声を聞きました。同じ活動でも、大はしゃぎで遊ぶ子もいれば、やりたくない子や見ているだけの子もいます。やりたくない子や見ているだけの子がいると、ついつい我々大人は、みんなで一緒に運動遊びを楽しんでほしいという思いから、動きを促したくなるのですが、まずはどんな姿も温かく受け止め、居心地よく過ごせるように関わることが、子どもの意欲や満足感につながるのではないのでしょうか。ねらい通りにならなかったり、一人一人の寄り添い方に悩んだりする時こそ、肩の力を抜いて、先生自身が「素敵！」「面白い！」などと感じたことを見つけてください。そして、そのことを子どもに伝えてみてください。先生の笑顔と、その言葉が、何より子ども達の心をワクワクさせるはずですよ。

ここだけは！ ～運動遊びを楽しむために、ぜひ意識したいこと～

のびのび遊べるような配慮をしよう

ルールや指示はできるだけシンプルに！

今から〇〇するよ！
××だけ気を付けてね♪
さあ！早速やってみよう！



動き出したい気持ちを抑えすぎないように

かけっこよーい…あれっ！？
もう走り出してる！



苦手意識がある子こそ、心安らく場面を…

友達から認められる場面づくりをしよう

みんな見てみて！
〇〇君、▲▲だったよ！



見ているだけでもOK！
どんな気持ちも受け止めよう



新年度が始まり、あっという間に3か月がたちました。子どもたちは園での生活にすっかり慣れ、楽しく過ごしてくれていると思います。先生方におかれましては、お忙しい日々をお過ごしかと思いますが体調に気を付けてお過ごしください。
さて、今年度も年4回巡回訪問をさせていただきます。すべての子どもたちが、体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるよう、運動遊びを展開していきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。
こども育成課 仲義 健・上野 真希



園での取組を紹介します

朝一番、すでに汗びっしょりの子どもの姿が…！
こくふこども園では、楽しく元気に一日をスタートできるよう、運動量と友達同士の関わりを意識した取組を実践されています。
子ども達が自ら動きたくなるような環境や、運動量を増やして遊ぶ工夫が素敵でした。
楽しむためのポイントをお聞きしたので紹介します！

～息をはずませて遊ぶ5歳児の子ども達～



ポイントその① 自由にのびのび動こう！



音の変化に合わせて、速さや動きを変化させて動きます。先生がどんな動きも認めてもらえるので、子ども達はのびのびと自分なりの表現を楽しんでいました！

ポイントその② 友達と一緒に楽しもう！



二人組になりいろいろな動きを楽しみます。子ども達の意欲や、体の力を存分に発揮できるよう、一人の動きと、友達と一緒にする動きを交互に組み合わせる工夫をしておられました。

ポイントその③ 日常にはない動きの経験しよう！



バランスポーズやモデル歩きなど、日常生活であまり経験しない動きを楽しみます。子ども達がやってみたくなるような見本の見せ方や声掛けなど、先生の動機付けが素敵でした！

運動遊び巡回訪問時のお願い

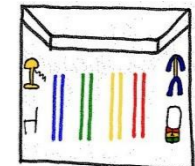
怪我なく楽しんで遊びを行うために、以下のことを点検してみてください。「運動遊びスイッチ」のON・OFFにもなり、メリハリある遊びや時間にもつながります。



自分の足が見えず膝がスモックに引っ掛かり転倒しやすくなったり、鉄棒にスモックを巻いてしまったりすることがあります。



たくさん身体を動かして遊んでいると、名札が外れることがあります。



使用しない道具はできるだけ隅に移動させましょう。また、明らかに使わない物品であれば別の部屋に移動させましょう。